熊本県中体連総合体育大会「バレーボール競技」

新型コロナウイルス感染防止対策等における留意事項

1　入場について

（１）チーム責任者は保護者からの参加同意書を得て、大会当日、本部に提出すること。

（２）各チーム入館は、試合ごとに人数制限をすることもある。

（３）原則、各学校まとまっての入退館・移動とする。

（４）外履きを置く場所は設置せず、外履きを入れるための袋を各自準備する。

（５）体育館内には荷物置き場を設けるが、待機場所は確保しないこともある。

2　会場について

（１）会場出入り口に消毒液は常設しない。各チームで消毒液を準備し消毒を行うこと。

（２）窓は開放しておき、常時換気ができるようにする。

（３）カーテンは直射日光が入らない限り、常時開放しておく。

（４）会場内では、原則マスクを着用する。ただし、コート内の選手は除く。

（５）湯茶等の準備はしない。

（６）ゴミは各自で持ち帰る。

3　競技等について

（１）開始式は会場長の挨拶のみとする。

（２）試合前後は必ず手を洗う。

（３）ベンチに設置する椅子は３脚のみとし、コートチェンジの際、３脚とも移動する。

（４）試合開始時・終了時のあいさつは、エンドライン・アタックライン上で行う。

（５）作戦タイム時等の給水は、回し飲み、タオルやコップの使い回しはしない。

（６）試合終了後、すぐに当該チームでベンチ等の消毒を行う。

（７）試合間は、用具等の消毒等を行う。

4　その他

（１）待機する保護者も密にならないよう、間隔を十分に確保する。

（２）大会開催にあたっては、様々な準備・対策・配慮があることを忘れず、参加者・応援者はコロナウイルス感染拡大防止に努めて下さい。

熊本県中体連総合体育大会バレーボール競技開催に伴う
審判上の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対応策

① 審判団は、主審1名・副審1名・ラインジャッジ4名・点示2名・ボールコレクター2名で行う。（スコアラーは、副審と近距離での接触が考えられるため採用しない。）
【相互審の場合は、ラインジャッジ各2名・点示各1名・ボールコレクター各1名】
【チームの選手が7名の場合は、ラインジャッジ4名・点示1名・ボールコレクター2名】
【チームの選手が6名の場合は、ラインジャッジ4名・点示1名・ボールコレクター1名】

② 主審副審は、マスクの下に笛をくわえる。電子ホイッスルは、使用しない。
（電子ホイッスルは、音が小さいことと、複数面では音を聞き分けにくいため。）

③ ラインジャッジ、点示員はマスク着用。
ボールコレクターは、マスク・ゴム手袋を着用する。
（ボールコレクターのゴム手袋・ボール拭き用タオルは各チームで準備する。）

④ ボールは、ワンラリー毎にボールコレクターを経由し交換する。
２ボールシステムで、副審後方にボールコレクターを配置し、スムーズな運営につとめる。

⑤ 試合中コート上でプレーするとき以外は、選手・スタッフ・審判団すべて、マスクを着用する。

⑥ コート内外問わず、大声を出したり、円陣を組んだり、ハイタッチはしない。
（試合前・セット間・タイムアウト時のみ、ベンチでの集合を認める。但し、指示のみとし掛け声やパフォーマンス等は行わない。）

⑦ 各セット１３点で、給水のためのタイムアウトを１分間の中断を設け、給水及び手指消毒を行う。

⑧ チェンジコートの際は、椅子を全てチームで移動する。

※各チームへご負担をおかけしますが、絶対に感染者を出さず、より安心安全に継続して大会を開催・運営していくためですので、ご理解いただきご協力をお願いします。